

# 漁況予報 いわし

## 第 1 5 3 号

2009年 5～6 月漁期  
(2009年5月19日発行)

### ＝ 概 況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、3月が49トン、4月が25トン（速報値）で、前年同期（3月：5トン、4月：19トン）及び過去5年平均（3月：11トン、4月：9トン）をとともに上回りました。

佐島地区のまき網は、4月上旬に中羽サイズが少量混じったものの、まとまった漁獲はありませんでした。

魚体は、体長14～16cm台の中羽サイズが主体でした。

3月のしらす漁獲物を調べた結果、マシラス（マイワシの仔魚）の割合は、昨年、一昨年よりも少なく全体の一割程度でした。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、3月が436トン、4月が619トン（速報値）で、前年同期（3月：124トン、4月：201トン）を大きく上回り、過去5年平均（3月：445トン、4月：489トン）とほぼ同レベルでした。

佐島地区のまき網は3、4月を通じ、餌いわしとしての漁獲が継続しました。魚体は、体長10～12cm台の小型成魚および大型成魚が主体でした。

#### 【しらす】

3月11日に解禁となった相模湾のシラス漁は、好漁だった昨年から一転し、3月は過去5年間では2004年に次ぐ不漁となりました。4月初頭に黒潮からの暖水が波及したこととともない漁が本格化し、その後4月下旬までおおむね好漁で推移しました。

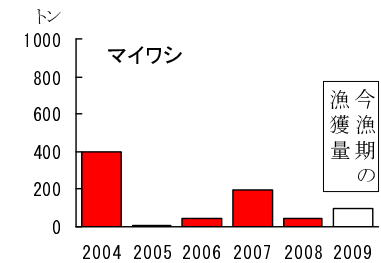
3月に不漁だった要因としては、相模湾内に黒潮からの暖水が波及しなかったため沖合からカタクチシラスが補給されなかったためと考えられます。また前号でもお伝えしたとおり、今年の沖合域のカタクチイワシ大型成魚資源水準は昨年以上に低いため、海況の変化により一時的に好漁になることはあっても、沖合からの継続した補給は今後もあまり期待できないでしょう。

#### 【まいわし】

今漁期は、中羽イワシ（1歳魚 2008年級群）が漁獲の主体となるでしょう。今漁期の漁獲量は、太平洋系群の資源量指数値から、定置網を主体に約100トンと予測されます。

\*縦軸：主要定置網+まき網

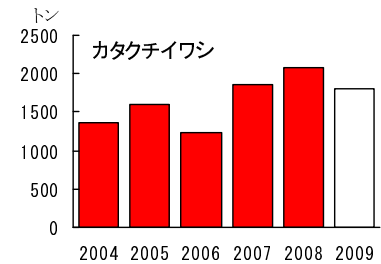
過去5年の5・6月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



#### 【かたくちいわし】

今漁期は、小型成魚および大型成魚が漁獲の主体となるでしょう。今漁期の漁獲量は、約1800トンと予測されます。

\*縦軸：主要定置網+まき網



#### 【しらす】

今漁期は、4～5月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。大型成魚資源量指数は低いため、シラスの大規模な来遊は見込めないでしょう。

今漁期の漁獲量は、大型成魚資源量指数から約80トンと予測されます。

一方、カタクチイワシ成魚が多く相模湾内に滞留しており、これがシラス漁場に頻繁に来遊すると、予測値を下回ることも考えられます。

